



# SNSCだより



2021年4月  
NO.419

4月17日

新型コロナウイルスによる蔓延防止警戒中！

部員	78名	新入会退会
U12	30名	祖父江健志 ソフエケンジ 東落合小
U11	11名	
U10	14名	
U9	15名	
U8	5名	
U7	3名	



こんにちは

サッカーの楽しさについて、改めて考えてみてくださいませんか？

プレーすると、観ること、応援すること、指導すること。

プレーは、得点すること勝つことが楽しみでしょうか？

それだけが本当に楽しみでしょうか？

観ることは？応援することは？指導することは？

新生活が始まり、楽しいことがいっぱいですが、経験や知識が、自分の判断を分かりづらくする時もあります。

物事に対して、まずは初心に戻ってみてくださいませんか？

無垢な状況が、新たな方法を示してくれると思います。

自分の心をコントロールするのも、

トレーニングになりますので試してみてください。

U9コーチ 藤井 雅



努力（どりよく）は、かならず報（むく）われる

この前、水泳の池江選手が、泳ぎ終わったあとにインタビューで答えていた言葉です。

2年前、血液（けつえき）のがんである白血病という病気がかりました。

いのちがなくなるかもしれない・・・

そんな中で、生きる希望（きぼう）をすずすずとたたかっていた結果（けっか）、

見事に病気に勝ちました。

そして、さらに、体をきたえ、努力をつづけ、

オリンピック選手に再びかえってきたのです。

たくさんの人が、帰ってきた池江選手の言葉に感動し、

オリンピックに出ることができていることを喜んでいきます。

コーチもその一人ですが、

もう一つコーチは別の考えももっています。

【生きる努力を続けてきたからこそ】

自分の体のことを考え、フォームを見直し、筋力トレーニングを行い、

何本も泳いできたことでしょう。しかし、それだけではないはずです。

毎日の生活の中。

そこには池江選手の“自分の命を大切に”する努力がたくさんあったと思います。

サッカーが上手くなりたかったら、サッカー以外のところから努力を続けること。

遠回りのように、案外近道かもしれません。

保護者の皆様へ

「努力は必ず報われる」自信をもって、私たち大人が言えるでしょうか？

私は言います。なぜなら、結果で判断しないからです。

結果を求めると、そこには、“努力”を水のあわに感じてしまいうものが

待ち受けている可能性があります。

人生100年時代。サッカーとは、ずいぶん離れますが、

命が終わる時に「ありがとう」と伝えることができることをゴールに考えると、

結果ではなく、経過をみることもできる大人になれる気がします。

監督 有持 哲治

